

2026年2月25日

【Tokyo GreenTech Challenge 実証報告】
立体アートが3都市を接続
廃棄資源×DXで地域循環モデルを実証

本取組は、大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォーム Tokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)のスタートアップ支援プログラム「Tokyo GreenTech Challenge」の一環として実施されるものです。

Tokyo Marunouchi Innovation Platform 公式サイト:<https://www.tmip.jp/ja>

「Tokyo GreenTech Challenge」採択事業7社決定リリース:<https://www.tmip.jp/ja/report/11420>

株式会社 WALLTECH(本社:沖縄県沖縄市、代表取締役:長谷場)は、廃棄資源を活用した立体アートの制作および展示を東京・甲府・沖縄の3都市で実施いたしました。

本取り組みは、同一作品を3地域で巡回展示する「地域接続型モデル」です。



【左:巡回展示の様子 右:Okusawa Art Project(東急建設様連携)の様子】

■ 地域を循環させる設計思想

本巡回展示では、3会場すべてで同一の立体アート作品を展示しています。

作品には以下の廃棄資源を活用しています。

- ・甲府市: 宝石端材
- ・エーアンドエス株式会社: 宝石端材、廃石膏
- ・AGC 株式会社: 廃ガラス
- ・匠工房: 琉球ガラス端材

各地域の資源が1つの作品に組み込まれているため、

- ・東京で甲府や沖縄の産業背景を知ることができる
 - ・甲府で東京や沖縄の取り組みを知ることができる
 - ・沖縄で東京や甲府の地域資源に触れることができる
- という構造を実現しています。

これは単なる巡回展示ではありません。

アートを媒介に地域同士を接続し、理解と関心を循環させる設計です。

展示では素材背景や地域情報も紹介しており、観光誘導や地域理解促進も視野に入れた構成としています。

■ 東京展示(大手町ビル)

展示会場: 大手町ビル地下2階

本展示では、丸の内アプリと連動し、アンケートを実施、2,001件の回答を取得しました。

主な結果は以下の通りです。

- ・立体デザイン評価: 平均 3.76 / 5 点
- ・廃材活用への関心: 平均 3.79 / 5 点
- ・「今後も見たい」回答: 93.8%

都市動線上における環境型アートの高い受容性を定量的に確認しました。

■ 甲府展示

展示会場: 甲府市役所1階

2026年2月3日、山梨日日新聞社に掲載されました。

ジュエリー産地である甲府市の宝石端材を活用した循環型アートとして、地域の関心を集めました。

■ 沖縄展示(現在進行中)

沖縄国際大学イベントにて展示を実施しました。

また、nagonobaにて展示を行っており、**2026年3月17日まで現在進行中**です。

同一作品を展示することで、地域外資源とのつながりも提示しています。

■ 都市実装事例: Okusawa Art Project(東急建設連携)

WALLTECHは、東急建設株式会社と連携し、「Okusawa Art Project」に参画いたしました。

本作品は「奥沢の街並みとカルチャー」をテーマに制作された立体壁画です。

東急建設の工事現場から排出される廃石膏ボードをはじめ、廃ガラスやジュエリー製造工程で生じるキズやカケのある宝石端材などを活用し、立体的な壁画として制作されています。

本取り組みは、都市空間における資源循環の可能性を提示し、アートを通じて環境意識を高めることを目的としています。

※詳細は東急建設株式会社のプレスリリースをご参照ください。

<https://www.tokyu-cnst.co.jp/topics/2929.html>

■ 著作権保護×3D化DX

本プロジェクトの中核は、特許出願中の技術を活用した

- ・2Dアートの3D変換
- ・位置情報と画像照合による真贋確認
- ・アーティスト情報の可視化

です。

AI時代において、アートの著作権を守りながら立体展開する仕組みの構築を目指しています。

■ 本取り組みの意義

- ・2,001 件の定量データ取得
- ・地域接続型展示モデルの提示
- ・都市実装事例の確立
- ・廃棄資源の可視化
- ・アーティスト権利保護モデルの提示

本取組は、アートを装飾から、**地域と都市を接続する社会実装型インフラへ進化させる挑戦**です。

株式会社 WALLTECH 会社概要

株式会社 WALLTECH は、2023 年 11 月設立の沖縄発スタートアップです。本社は沖縄県沖縄市比屋根に在りし、「アートとテクノロジーの力で社会課題を解決する」ことを掲げ事業を展開しています。

主な事業は「繊維パネル事業」と「アート壁事業」の二本柱です。繊維パネル事業では、着なくなった衣類や製造時のハギレ、農業フィルムなどの廃棄資源を活用し、意匠性と環境配慮を両立したアップサイクル素材「Collage」を開発・製造・販売しています。

アート壁事業では、3D プリンタを活用した独自工法(特許出願中)により立体アートを建築空間へ実装し、空いている壁を新たなマーケティングツールへと転換しています。位置情報と画像認証を組み合わせる仕組みにより、アーティストの権利保護と正当な価値還元を実現しています

WALLTECH は、アートの力で地域価値を高め、都市空間に新たな文化と経済の循環を生み出しております。

<連絡・お問い合わせ先>

株式会社 WALLTECH 担当:長谷場 咲可

mail: info@walltech.jp